

10. 侵入警戒調査

(1) ミバエ類

① 青果市場調査

ア 調査方法

4月から11月にかけてスタイナー型トラップを各市場に常時設置し、原則として月1回以上各害虫の捕獲の有無を確認した（原則毎月5日）。誘引剤はミカンコミバエ・ウリミバエにユーゲルアD8、チチュウカイミバエにメドフライコールを用いた。誘引剤は月に1回新しく交換した。

イ トラップ設置場所

地 区	市 場 名
区 部	築 地 市 場
	大 田 市 場
	板 橋 市 場
	淀 橋 市 場
	北 足 立 市 場
多 摩 地 区	八 王 子 北 野 地 方 卸 売 市 場
	青 梅 青 果 地 方 卸 売 市 場
	多 摩 ニ ュ ー タ ウ ン 市 場
	国 立 地 方 卸 売 市 場
	東 久 留 米 地 方 卸 売 市 場

ウ 調査結果

調査期間中、いずれの市場においてもミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは捕獲されなかった。

② 硫黄島調査

ア 調査方法

平成29年11月15～17日にミカンコミバエ用トラップを7箇所、チチュウカイミバエ用トラップを3箇所設置し、12月12～14日に回収して各害虫の捕獲の有無を確認した。誘引剤はミカンコミバエにユーゲルアD8、チチュウカイミバエにメドフライコールを用いた。

イ 調査結果

調査期間中、いずれのトラップにおいてもミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは捕獲されなかった。

(2) ウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）全国調査

① 調査方法

関東農政局消費・安全部長通知「平成29年度ウメ輪紋ウイルスの全国発生状況調査の実施について」に基づき、6月から8月にかけて9地点の調査を実施した。

② 調査場所

地 域	調査地点（8区市町9地点）
区 部	杉並区
西 多 摩	瑞穂町
南 多 摩	町田市、日野市、稲城市、
北 多 摩	三鷹市、調布市、東村山市

③ 調査結果

いずれの調査地点においても採取した検体からウイルスは検出されなかった。

(3) キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）春季調査

① 調査方法

消費・安全局植物防疫課長通知「キウイフルーツかいよう病のPsa3系統の防除対策マニュアル（暫定版）」第5の5に基づき、4月から6月にかけて26地点の調査を実施した。

② 調査場所

地 域	調査地点（4市26地点）
北 多 摩	立川市、三鷹市、小平市、東村山市

③ 調査結果

4園地で発生が確認されたが、いずれの園地もマニュアルに従い防除が行われた。